

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道444号 寺井津バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県佐賀郡諸富町大字為重 至：佐賀県佐賀郡諸富町大字為重	延長	2.6 km		

## 事業概要

一般国道444号は、長崎県大村市を起点とし、佐賀県鹿島市、佐賀市を経て佐賀県佐賀郡諸富町に至る延長約6.5 kmの幹線道路である。寺井津バイパスは終点部にあたる諸富町寺井津地区の幅員狭小区間での交通混雑緩和と交通安全の確保を図るため、県道大詫間光法停車場線交差点付近から町道石塚小杭線交差点までの延長約2.6 kmの2車線バイパスである。

## 事業の目的、必要性

寺井津バイパスは、現道の国道444号の諸富町内における幅員狭小区間の解消、交通混雑の緩和を図るとともに、沿道環境の改善、交通安全の向上に大きく寄与するものである。

全体事業費	30億円		計画交通量	8,000台/日	
費用対効果分析結果	B/C 2.0	総費用 26億円 (事業費：24億円 維持管理費：2億円)	総便益	54億円 (走行時間短縮便益：48億円 走行費用減少便益：3億円 交通事故減少便益：2億円)	
			基準年	平成15年	

## 事業の効果等

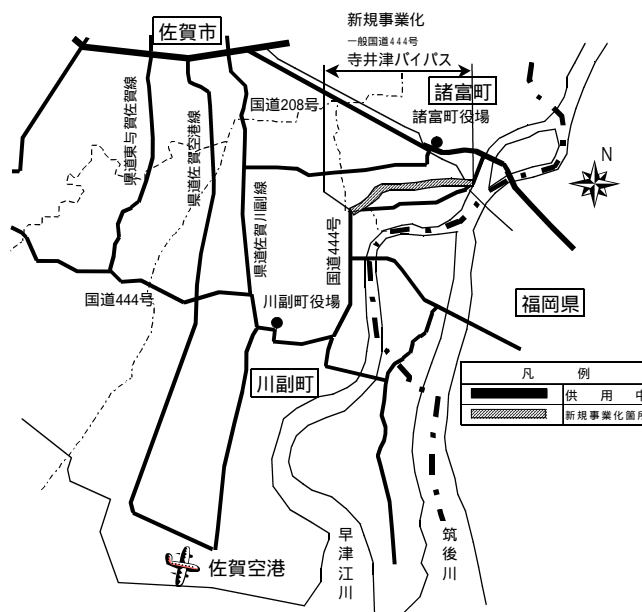
- ・円滑なモビリティの確保（佐賀空港へのアクセス向上が見込まれる。）
- ・物流効率化の支援（農水産品の流通の利便性向上が見込まれる。）

他12目に該当（定量的評価項目を含む）

## 関係する地方公共団体等の意見

寺井津バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、佐賀市をはじめとする関係2市7町の首長で構成される「国道444号諸富鹿島間道路改修促進期成会」からの早期整備要望はもとより、地元区長会から諸富町を介し整備要望（平成12年4月）を受けている。

## 事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。